

(議長)

休憩前に引き続き、会議を再開します。

追分商工観光課所管の予算並びに関連議案について、一括説明を求めます。

「追分商工観光課長」・・・補足説明

「追分商工観光課長」(公設地方卸売市場事業特別会計 補足説明)

それでは追分商工観光課所管の予算につきまして、説明をさせていただきたいと思えます。お手元の予算資料10ページの方をご覧をいただきたいと思えます。No.137から140番までの労働費でございますが、昨年とほぼ同額でございますので割愛をさせていただきます。

次にNo.141番目の雇用対策費。重点分野雇用創造事業でございます。事業費は654万1千円でございます、内容は町内で収穫される特産品の開発や、販路拡大の促進を総合的にマネジメントする業務推進員を町に配置をし、6次産業を推進するというものでございまして、2名の方を1年間雇用いたすということでございます。

次に12ページお開きをいただきたいと思えます。No.178から186番までの商工総務費、および商工業振興費でございます。この中で増額となっておりますのは江差商工会の補助600万ということございまして50万円ほどの増額となっております。その他の方につきましてははですね、ほぼ同額ということになってございますので、割愛をさせていただきたいというふうに思えます。

次に187番目から196番目の観光費でございます。まず187番目の新幹線開業を見据えた観光対策事業でございます。761万6千円でございます。町長の執行方針でも申し上げましたとおりいよいよ3年後に新幹線開業が迫って参りました。この開業は我が町にとりましても千載一遇のチャンスであり、とりわけ平成25年度は江差町を全国へ情報発信していくと、いうことでは極めて重要な年であると、認識をいたしております。さまざまな媒体や機械を活用しながら、切れ目なく江差町の魅力を発信して参りたいなというふうに思っております。

それではあの今日お配りをいたしましたNo.4の資料があると思えますけれども、まあこれに基づきましてですね、説明をさせていただきたいと思えます。よろしいでしょうか。具体的にはまずあのJR商品説明会への参加ということでございます。これらにつきましては北海道JRが全国のエージェント等への商品の売り込み、これを行う場ということございまして。この好機に江差町を売る絶好の機会であるということございまして、東京あるいは仙台の方で積

極的に江差町を売り込んで参りたいと考えてございます。

それから函館みなみ北海道グルメパーク、函館東北チャリティープロモーション、及び函館グルメサーカスについては食を中心としたイベントでございます。これらの方につきましてははですね、特に東北チャリティーであるとかグルメこの方につきましてはタブロイド紙による PR がされていると、いうことでございましてこれの PR 効果がものすごくあるということで、そういう効果が期待をされているところでございます。

その他センチュリーロイヤルホテル、ロビー店というものがございまして。この辺につきましてもこのホテルの宿泊客層につきましては首都圏等ですね、外国人の方々が非常に多いということもございまして、この機会に江差の PR をして参りたいと。この期間につきましては7月いっぱいということで姥神祭りであるとか、開陽丸これらの展示をして参りたいなということで7月いっぱいの期間の開催を考えてございます。

それと旅雑誌によります冊子制作ということでございまして。これらに冊子をつくりまして、江差町を PRPR したいということでございまして。

それから JR 東日本の新幹線5つ、東北・山形・秋田・上越・長野というふうでございますが、この5つの新幹線の全席に広告掲載をして江差町を PR して参りたいというふうを考えているところでございまして。以上が新幹線対応ということで考えている新たな事業ということでございまして。

次に、レストランの方の関係でございましてNo.192でございます。これの方につきましてはでございますが、96万6千円でございます。内訳は和室のエアコンの方がちょっと修繕を有するという事ですから、これの部分とそれから畳の取り替えということで昨年に比べて少し多くなっているという状況でございます。

次に観光客誘致宣伝対策でございます。これにつきましては168万6千円となっております。まあこれにつきましては昨年まで観光パンフレット、この方につきましては単独事業で計上しておりましたが、今回パンフレット分をこちらの誘致対策という方に予算組をいたしました。

そんな関係とそれから PR 事業ということも含めて函館にございまして、ラジオの FM いるか。これがあります、これを活用した PR。これを行いたいということで江差の3大祭りをですね、6月から9月にかけて PR したいというものでございまして。ということでこういう金額になっておるものでございまして。以下の事業につきましては例年とほぼ同様でございますので具体的な説明につきましては割愛させていただきたいというふうに思います。

次にNo.197から201番ということでございまして。追分会館管理費、追分振興費及び山車会館管理費でございます。昨年とほぼ同額となっておりますの

で割愛をさせていただきたいというふうに思います。

それから以上が歳出の方でございます。歳入の方でございますけれども、歳入につきましてもほぼ商工観光、追分とございますけれども同額でございますのでこれらにつきましてもですね割愛をさせていただきたいというふうに思います。

それから次に219ページから229ページお開きをさせていただきたいと、思います。公設地方卸売市場の特別会計でございます。これにつきましては平成25年度の歳入でございますが、歳入歳出61万9千円で計上となっております。226ページお開きを願いたいと思います。歳入の方ですけれども使用料で61万9千円ということでございます。まあこれは市場からの建物使用料ということでございます。支出の方でございますけれども228ページから229ページお開きを願います。漁業協等への土地費・借上代等でございますのでそこに記載のとおりでございます。特別会計の方につきましては以上でございます。

それから最後になりますけれども議案書の方の147ページ。議案書の方をちょっとお開きをさせていただきたいと思います。議案書の147ページ148ページでございます。資料の方につきましては52ページと54ページ、まあ関連資料で載っております。江差町営レストラン管理条例の一部を改正する条例でございます。現在レストランの方につきましては指定管理制度を導入をしておりますのでその制度の趣旨につきましては多様化する利用者ニーズ、これらに対して効果的に効率的に対応を図るということとそれから管理者の経営能力やノウハウを活用するということ。それから利用者へのサービス向上を図ろうとするものが主なものでございます。従いましてメニューの価格これの方につきましては現在、別表であるわけでございますけれどもこれにつきましては管理者が自らご自分で考えて決めていただくというものでございます。レストランの一部内容の方につきましてはですね、そういうことであの最大限今申し上げましたように指定管理者の裁量を十分発揮して頂きながらですね、この値段を決めていただくということでその決めていただくにつきましても一応町長の方の承認を受けなければならないということで思っておりますけれども。それは法外な部分であればそういうことがあるでしょうけれども、その分につきましてはですね、社会通念上の価格度分でもって価格を決めていただきたいと、いうことでございます。これの削除という趣旨の条例改正でございますので、ご一読をお願いしたいというふうに思います。説明ざっぱくになりましたが以上でございます。よろしくどうぞお願いいたします。

(議長)

以上、説明が終わりました、質疑を許します。質疑希望ありませんか。

「小林議員」

#### (小林議員)

新幹線の資料41のところでも1つ、であります。最後の情報誌への広告掲載ということで157万5千円の予算が組まれていますが、これの発行回数といたしまして、どういう期間に出すのかちょっとわかれば教えてください。

それとあと観光費で歴史文化等体験民泊調査事業というのが40万6千円ほど予算組まれていますがこの中身と、あと同じく194万の繁次郎番屋の管理ということで昨年度のその繁次郎番屋の利用者数とかわかるようであれば教えてください。以上3点です。

#### (追分商工観光課長)

今1問目の質問でございますけれども旅雑誌あるいは情報誌への広告の関係でございます。これらにつきましては、旅雑誌であれば「るるぶ」であるとか「じゃらん」であるとかそういう部分あると思っておりますけれども。これらにつきましても、まだどちらの方にするかという部分のなかでは決めておりませんけれども。我々の方にとって提供者側の方にとって条件の良いいいいますか、そういうかたちの方の中で決めさせていただきたいというふうに思います。その下段の情報誌この新幹線の方につきましても、これらにつきましても色々ございますのでこれも、見積もり等見させてもらいまして条件のいいところといえますか、その辺を検討させていただきたいというふうに思います。発行部数等につきましてはそこに書いておりますとおりでございますのでよろしくお願いしたいと思います。

それから、民泊等の関係の方でございますけれども、これ昨年もですね昨年あの今年度でございますけれどもやっている事業でございます。これは特に民泊に関しましては追分大会のときに、宿が満杯になるということで試験的に、民泊のようなものを試行するかということの中でやっている事業でございます。去年の場合であれば50人程度が泊まっているということでございます。宿泊先の方につきましては追分関係者のところであるとか、商工会婦人部さんのお宅であるとかというようななかで色々やっております。今年もそういうかたちでやらせていただきたいという考えでございます。

それからもう1つタブレットということで、今観光の情報発信ということになりますとあの現地に行きまして、その現地の情報を見てこういう大きなタブレットをなのですけれども。それにつきまして、今年作りまして25年度の方についてはそれを各施設の方にまあ5ヶ所程度配置をさせていただいて、そし

て町内をまわってもらいましょうかというかたちのものです。そしてあとは江差町のホームページの方にもアクセスができるようなかたち、そういうかたちで3月末までに完成をするということで今動いておりまして4月からはですね、連休等からはもうそれを利用させていただきたいということでございます。

それから、繁次郎番屋の方につきましては24年度の方につきましては昨年が人数的には約1000人なのです。ところが286件、件数で286件。1005人という宿泊になります。今年の場合は275件の931と、昨年からは少し減になっているという状況でございます。以上でございます。

#### (議長)

はい、いいですか。次「小野寺議員」

#### (小野寺議員)

はい。4つお聞きします。まず新幹線関連なのですがあの資料はいただきましたがその前に先だつての新幹線開業に向けた各団体意見交換でしたか、その部分で基本的に今後その色々な関係団体とどういうふうにもつてくかという、1回きりかどうかも含めてわからないのですが。まずその会議の今後の方向性もしくはそこでどういうこと話し合われたのか、今後のことも含めてまずお聞きしたい。というのが1点。それから再質問で少しちょっと別な角度で聞きます。

2点目。もしかして聞き逃したかもしれませんが、雇用創造、重点分野雇用創造事業。654万これ説明あったのでしたか。これちょっと具体的に少し教えて下さい。要するに配置するのですね、人。

それから3つ目。買い物バス資料でいただきました。この間何回かあのもう少し使い勝手の良いように改善等々ないのかという観点から直接こういう場でも、それから商工会にも色々意見交換もしたのですけれども。あのもしあれば教えていただきたいのですけれども、1つだけ問題意識。例えばでいいます、江差ターミナルといいますか夏場は楸川からですか。の方面からずっと下の方まで行って、茂尻を通過して1回また、南浜そして南が丘とぐるっと回ってそれで街場の方に行くと。それから仮にラルズの方で買い物したいという人は下町の人は帰り道ですから、ですよね。ですから今度結局片側通行ということで色々な意味で私は利用者にとって不便かなと。これ月火水木金5日間です、全く同じ行路ですよね歩き方。ですがこれ例えば月水金、火木土というか例えば1日おきで、コースを逆にやるとか。それで色々な人に聞いたら自分自身は毎日行かないと。ですからそれはあの今日は行って明日は行かないという人もなかなかあるかもしれませんけれども。いずれにしても全く同じ方向で人によって

はすごい不便。もっともっと改善の方向まだ他のこともあるのですけれども。利用者にとって便利な改善の方向性あると思うのです。すぐここでどうのこのというのじゃないのですけれども。利用者の色々な意見、なども含めてせつかく町のお金使うのですから改善を図るべきだと思いますが、この点についてお聞きしたい。

それから最後、松山地域人材開発センター運営補助で、442万出しております。これはちょっとよくわからないのですが全体の運営費補助、ということで特段こういうものにこうしなさいとそういうなんていっていいのでしょうか。特定のものに補助しているそういう性格じゃないかと思imasるので、これからの私の質問はちょっと観点がずれているかもしれませんが、あそこの宿泊と私今たまたまちょっと福島の子供達を春・夏・冬呼ぶということで今回も3月の末に30人ほどの子供達をまなびつくにお願いするのですけれども。結構傷んでいます。ご存知かもしらねえと思いますが、結構傷んでいます。聞いたらかなり使っていますね、松山関係の学生さんとか札幌辺りからの大学生だとかかなり使っています。だからこれは、人材開発センターの問題なのか運営費補助出している観点からでも何か言えるのかどうかわかりませんが、まなびつくについてももう少し改善を図ってもらいたいと思いますが、この点について教えていただきたいと思imas。以上。

(議長)

はい、「追分商工観光課長」

(追分商工観光課長)

まず1点目の、各種団体等々の意見交換会。これの内容でございませけれども。これにつきましては、あの新幹線が今3年後に来るといふことなかで江差商工会さん、それから観光コンベンション協会さん、それから歴まちさん。歴まちさんの方につきましてはちょっと都合悪くて、欠席されたのですけれども。その他に宿泊関係者や、お土産関係者の方々。そういった方々の方にお集まりをいただきまして、要は今まで各団体等の方でやってきている町づくりという事業がございませけれども。それにつきましてはきちんこの3年後の新幹線対応。これを考えたなかで統一的な見解を持ちながら1つに向かっといふこと、いふことの中で確認をしていただこうといふことで町長が招集をしたといふことございませ。これからもこの前の1回で終わるといふことではなくて2回になるか3回になるか、そういったかたちの中でまた継続して開催をしていくながら、その対応等につきまして、それぞれの分野からのお話を拝聴させていただきながら、その確認をして対応を図っていくといふようなことで

ございます。これが1つ目のその意見交換会のものでございます。

それから雇用創造の方の関係でございますけれども、これの事業につきましては1次産業のブランド化およびその付加価値をつけるということにつきましてはですね、まあ当然大事なことでございます。そういうなかで現在その農業団体の婦人部さんであるとか漁業者の青年部であるとか。そういうかたちの中で自分がたの方で、新たな特産品開発と、いうことを開発をしてきているという機運が醸成をされてきております。実際ものもできていると、そういう今咲いた芽をやはりそれを育てなければならないというのは我々の方の責務でもあるかなというふうに思っております。その芽をこう育てていくと、そういうことのためにはやはりきちんとしたそういう販路の拡大であるとか。そういう業務をマネジメントする業務推進員、これを置かなければならないであろうというかたちの中でこれは雇用創造事業でございますけれども、そういうなかで2人ハローワークを通じまして紹介をいただきまして実施するという方向のなかで、すでに面接は終えていると。これは庁内の方にお2人を置くということで考えてございます。それで特にそういうことになると専門性を問われるかもわかりませんが、それは専門的にいうことどうのこうのという部分もありますけれども、この事業自体重点分野雇用創造事業でございますので、これは雇用促進をするということが主な事業でございますから、そういうかたちの中で2人のことについては一生懸命続いてもらったら勉強もしていきながらこの事業推進の方にやってもらうというかたちの中で考えてございます。

それから買い物バス関係はそのコースの在り方ということでございますけれども、毎年この買い物バスの方につきましては、私達あの利用者からの声を聞くということでアンケートをとっております。そこでどこで降りたとかいうことからはじめ、そういうものは分析させていただいているところでございますけれども。例えば乗る高いケースからいきますと椴川であるとか、南が丘・陣屋町。市街地から遠いところからは乗られているということもございまして。議員おっしゃいましたようなコースの改善。これの方につきましては、特に我々の方に聞こえてきていない部分ということもあります。もしそのようなことがあるとすれば、今年また25年度におきまして新たにアンケート調査、これをとりたいと思いますのでその辺も含めて、配置をさせていながら。これも今後利用者であるとか商工会のことも協議検討させていただきたいというふうに思います。

それから桧山人材まなびつくの方の関係でございます。これにつきましてはセンター運営補助という部分とそれから宿泊施設の事業の補助ということで、支援をしているわけではございますけれども。ここの宿泊については、追分の関係あるいはお祭り関係のにつきましても、色々な関係で宿が町内満杯になっ

たということになったらまなびっくさんの方をお願いをしてということで、今の現状の中では非常に我々の方でも貴重な宿泊施設だと、いう認識をさせていただいてございます。それで修理等の方までうちの方どうのこうのとということにつきましては、まなびっくの方とも今後検討させて、協議させていただきながらその辺検討させていただきながらうまくやっていきたいと。我々の見る限りにおいては、その辺までちょっと細く見ていなかったということもございまして今おっしゃられたようなことにつきましても、まなびっくの方からちょっとお聞きをしておりますので。もうちょっと向こうの意見等も聞きながら調節させていただきたいなという思いでございます。以上でございます。

(議長)

「小野寺議員」

(小野寺議員)

最初から、新幹線。そういう意見交換しながら色々な団体の思い考えを吸い上げて江差町としても事業化できるものは事業化。まあ政策化っていうことだろうと思うのですが。ただ残念ながらきつとその都度その都度の今の意見を聞くという場です、今のところは。結果的に今新幹線の対応としてききほど資料ももらったこういう色々な各種の事業だとか、企画サイドで色々考えている事業だとか。いずれにしても情報発信にせよ、中の中心市街地の色々対策も新幹線対策だということも含めて企画で言っていましたけれども。いずれにしても何か江差町全体で一定のその組織化、新幹線が来ることによって江差町でこうやってやろうというその恒常的なまあ協議会といいますか。なんというのでしょうか、色々なところは何か協議会とか。民間も入って行政も入ってとかと、そういうものの考え方がないのかこれは企画で聞くべきだったのかもしれませんが。そういう関係団体と集まりということがあれば、そういうのも核にしなからその都度その都度集まるのではなくて一定の恒常的なものをしながら、1つ1つ積み上げてくと。1回それで終わり、また何かで終わりだったらどうも後戻りも今までの分ですとありますのでそういう恒常的なきちんとした意見集約もする、対策もとるという場が私は特に情報発信の部分が多いとすると観光部門なのか、やや企画というのだったらまたちょっとあれなのですけど。ちょっとその点担当課長としてのお考えをお聞きしたい。

それから、買い物バスわかりました。雇用創造なのですが結果的には今までもあの前にも、お2人でしたか何人でしたかあのいましたよね。それで事業、お金が1回終わってまた次にという事実上まあそういう配置で。今おっしゃったのはその専門性といいながらも色々雇用対策ということもそういう加味して



採用ということを考えているということ、ずばり言えば地元の人でしょうかね。ちょっとそれをお聞きしたいのと、その専門性ということからいけばせっかくその江差町の色々な事業やって何とか事業化したい、何とか自立したいというのはやっています。その部分と本当に結び付くのかどうなのか。結果的に雇用という側面が強くて、1年なら1年で終わってしまったらさよなら、というのが今までだったのではないかとというのが私が感じているところです。その雇用対策という側面とそれをしっかりと企業間の結びつくそういうスペシャリストというか。そこをもうちょっとやっていかなかったら生きたものにならないのではないのかなという気がするのですけれども、その点もちょっとお聞きしたいと思います。以上。

(議長)

「追分商工観光課長」

(追分商工観光課長)

1つ目の質問でございますけれども、町としてはその協議会の方につきまして、今のところ我々サイドの方では、そういう考え方は特にはしておりません。ただ、今先ほど申し上げましたその各団体との意見交換会。これの他に例えばもっと下げて事務段階、ということで、例えば我々とかそういう中で実働部隊といいますか、そういうかたちの中での団体の方とかそういう分のなかで例えば振興局、こちらの方とも連携をして。今新幹線対策室ができますので中で連携をしてやりましょうという確認を今しているところでございます。それで、具体的には4月以降になるか3月末ぐらいにその1回目ができるか、活動なるかわかりませんがなるべく早く、そういう小さいのを大きくしたい。で我々の方の考え方からすると、動ける体制。小さい団体ですぐできるものの方については、そういう組織化といいますか。ものを作っていこうというような部分は、話し合いをして具体的には今後これからになるというかたちで進んでおります。ですから例えば目に見えている観光施設の他に、よく見えていない部分でも我々は光としては見えないけれども観光客からするとものすごい財産であるとか、光であるとかいうものが多々あるというふうに思います。そんなことも含めた中でそういう行動できるところの部署でそういうものを発掘をさせていけばいいのではないかと。そしてそれを、PRしていくということで進められればという考え方がございます。

それと、今のその雇用の方の関係でございますけれども。議員おっしゃるのは最もかなと思いますけれども。ただ、今我々の方で扱っておりますこの雇用創造の重点分野の部分の方につきましてはですね、先ほども申し上げましたよう

にあくまでも今の職のない方々を、雇用をするということが主目的ということなので。そこまでこの事業については、スペシャリストまでは求めていないと。はっきりいいまして、そういう部分があるものですから。雇用促進するのがまず第一義的な考え方だということなものですから、あのそういうかたちの中で進めさせていただいていると、いうことでございます。ご理解をお願いします。

(議長)

いいですね、はい次。「横山議員」

(横山議員)

お尋ねします。この予算資料12ページの183ページ、産業資金貸付とありますが、これは9,202万かな、結構な金額なのですが。これはどういうところを対象にどういうルートでこれを設定しているものなのか、教えてください。そして今までの実績などを教えてください。

それから次の今度187番、新幹線開業を見据えた観光対策。ここに別冊の資料41番出ていますが、これほとんどあの紙媒体なのですね。この他については企画の方で見るとはでしょうか。例えばホームページは企画で見るとは？観光課としてはそれは扱っていない。

そして他の例えば他のことで話しましたが、一般質問でも話しましたが例えばスマートフォンによる発信だとか、Wi-Fiによる発信だとかそういうものの扱いはどこの管轄というか担当になるのか。そもそもそれに対する対応を考えているかどうか。これからはどんどん紙媒体というよりはむしろ電子媒体の方に移っているというのはこれは即効性とか色々な意味で効果がありますから、そちらの方にもう情報の発信の仕方は移っているということですからその辺も教えてください。

それから、あと大事な追分会館、これ例えば198番でしょうか。などですがこれ去年は50周年という大変大きなイベント、やられたわけですがけれども。今年はそれを何かこう継続するというか生かすというか、そういう新しい取り組みが何か考えられているのかどうか。せっかくあれだけ色々されたことがその後、腰折れになるようではもったいないと思うものですから。そこのところよく教えてください。

(議長)

はい、「追分商工観光課長」

(追分商工観光課長)

それです1番目の関係でございますけれども。産業資金の関係でございます。これにつきましては産業資金貸付委員会がございまして、この委員の方々、5名おりますけれどもその方々に。

**(横山議員)**

どこにあるのですか？

**(追分商工観光課長)**

我々の方で事務局をもっております。まあそれで貸付額の方につきましてはその年によって違いますけれども。前期と後期、例えば前期であれば4月から9月。後期であれば10月から3月まで。というかたちの中で例えば貸付先の方につきましては、6箇所ぐらいの団体。こちらの方にお貸しをしているということでございます。

**(横山議員)**

どういう分野？

**(追分商工観光課長)**

産業団体が主になりますけれども、はい。こちらの方にお貸しをしているということでそれが産業資金貸付の方の関係でございます。300万からですね800万とかそういう金額の中でお貸しをしているということでございます。

それから、新幹線対応につきましてもそのホームページの方の関係でございますけれども。昨日もちょっと申し上げたと思っておりますけれどもこのPRに向けて、町の方で今25年度で企画サイドではホームページを新しくするというところでございます。

それと観光協会、それから追分会。この方につきましては今年度24年度の3月でもってそれを新しくしていくというかたちのなかで今取り進めているところでございます。それから今ご指摘のありましたそのWi-Fiの方の関係でございますけれども、まあこれもそういうそのモバイル観光といいますか。そういう時代っていいですか、そういう時代が今もう少しで来ているというかそういう状況だなと我々の方も思っております。そういう意味では、高速通信が可能であって非常に今時代を先取りした観光の手段といいますか、そういうかたちの中では認識をさせていただいております。それで今このスマートフォンであるとか、その携帯電話。そしてこれらを活用したこのWi-Fiを使うということからすると、いいのではないかとということもございまして。まあ今後これらについても、この観光の在り方につきましても我々内部の方で検討させてい

ただきたいというふうに思っています。

観光サイドの方としても、ちょっと検討させていただきたいというふうに思っています。

それから追分会の今年の大会の在り方ということでございますけれども、今議員おっしゃいましたように昨年50回大会ということで大体的にやったのですけれども。まあ今年につきましては、また51回目になるわけでございますけれども。もとの在り方といいますか、あのシンポジウム等を2回ぐらい開いてございますけれども、それらの意見等も、色々伺っておりますのでそんなことも考慮に入れた中で、例えば江差追分の唄の在り方等も大会自体にはあれですけれども、今後の追分会の在り方等につきましては、後継者、それから後継者につきましても唄い手と、指導者の後継者の問題もありますのでそんなことも含めたなかで検討させていただきたいというふうに思っております。以上です。

**(議長)**

「横山議員」

**(横山議員)**

もう1つ江差町にとっては大変重要なことだと思っています。いわゆる北前船シンポジウムというのが長らく全国的なスケールでやられている事業がありますね。それにあの江差町としてはいわゆるどうかたちなのか、人が派遣されて参加しているところもあります。あるいは1回目は確かこれ江差町ですか。北前船シンポジウムというのはいくつかあるのですけれどね。そのなかでも北前船というのはこの江差町にとっては大変な追分ある意味じゃ以上に裾野広いところに観光的なですね。成果としては重要なものになるルーツになるというふうに思いますので、この北前船シンポジウムに関して江差町から例えば何か参加するとか、そういうようなつもりはあるか。あるいは将来的にまた江差町にそういうシンポジウムのことを誘致する動きをするのかどうか。何年もかかるかと思えますから、そういうのを前以て準備しなければならないものだと思いますが。そういうことをまず考えているかどうかお知らせください。

**(議長)**

「追分商工観光課長」

**(追分商工観光課長)**

今あのシンポジウムの方の関係でございますけれども、昔のは、江差町とし

でも参加をしてきたということで我々の方も承知をしてございますけれども。それが今段々段々その開催が各自治体まわっておりまして、その間で財政状況もこういう経済状況になりまして悪くなってきているということで。段々段々各自治体の方につきましてもですねやらなくなってきていると、いう状況を聞いております。従って今議員おっしゃったようなかたちの中では江差町としてこのシンポジウムの開催をしていくとか参加をするというかたちの考え方、これは当観光サイドとするとそういう考え方を持ち合わせていないということでございます。ご理解いただきたいと思えます。

**(議長)**

いいですか。

**(横山議員)**

今のことについてもう1つ。確かあれは函館でやったのがそうですね、去年でしたか、北前船あれ山形の人が来てやりましたよね。例えばそういう具合に、全国色々な有力者の方も参加されてやられています。JR関係ですとか、全国の東日本など含めて北海道JRも含めまして。あるいは飛行機会社も含め、それからそれこそ国交省含めてやっています。そういうふうなことに積極的に情報収集とか、そういう意味も含めてやはり江差町としてはこれは大事な関係のあるものですから参加されるように、考えられたらいかかかなと思えます。

**(議長)**

「(迫分商工観光) 課長」

**(迫分商工観光課長)**

あの、例えば北前船のセミナーであるとか、講演会であるとかそういったものにつきましてはもしくはご案内があれば、それらの方につきましては参加をさせていただきたいと思えますけれども。昔やっていたようなかたちのそのものとして、さきほど申し上げました考え方はないということでございますので今申し上げましたようにそういう講演会等々であれば、それは参加は我々の方とすると参加はしていきたいなというふうに思っております。以上です。

**(議長)**

はい、いいですね。他に質疑希望ありませんか。

(「なし」の声)

**(議長)**

他に質疑希望ありませんので、追分商工観光課所管の予算及び関連議案についての質疑を終わります。

**(議長)**

説明員入れ替えのため、暫時休憩いたします。